

長崎グリーンヘルパーの会会報

発行責任者 会長 前川文雄
長崎市戸町 2-6-12



2021 長崎エコライフフェスタ開

10月23、24日

NGH 参加者
 9月18日(土) 準備 前川,小林,根岸ユ,田中
 10月16日(土)準備 前川,小林,根岸ユ,根岸マ,馬場,田中,池田
 10月23日(土) 前川,小林,根岸ユ,根岸マ,根岸ア,馬場,赤水
 10月24日(日) 前川,小林,根岸ユ,馬場

竹灯籠作りの指導と展示

「2021 長崎エコライフフェスタ」が10月23、24日長崎市で開催されました。

今年は分散開催となり、長崎グリーンヘルパーの会はNPO 環境保全教育保全研究所、川さるく森川海塾との共同企画で、中島川公園会場を中心に、竹灯籠製作指導と展示を行いました。夕方より点灯展示した多くの竹灯籠は、各会の会員が事前に集まり製作準備をしました。



眼鏡橋付近の展示灯籠



事前に準備した竹灯籠



女子大生4人の作品



多様な種類の灯籠



灯籠作りに挑戦



体験者1号のA君



(長崎市東出津町)

遠藤周作文学館屋外整備

10月24日(日) 参加者 峰,片山,中橋,久田,田中,細川,森
11月13日(土) 参加者 峰,田中,中橋,久田,片山,細川,森

今年はお疲れ 来年もよろしく

11/13 活動

前日・当日の明け方までの雨も上がり、いつものメンバーが集まるころには、青空が広がりました。

今年度、最後の活動日でしたが、当日文学館では、講演会が開催され、沢山の遠藤周作ファンが集まっており、刈払機の使用制限がありました。会員は日頃からの経験を生かし、剪定ハサミ等で作業を進めました。ベンチ側の樹木もスッキリと剪定、ツツジも丸く美しく剪定、アジサイ周りの刈り込んだ雑草も取り除きました。

午後は後片付けと道具の手入れをし、少し早めに終了。

会で植樹したハマボウは、紅葉の美しいところで、椿は沢山の花芽を付け咲くのを待ちわびているようです。

今年度、参加の会員の皆さんおつかれでした。新しい年も、会員多数の参加をよろしくお願いたします。 (峰 久代)

10/24 活動内容;草刈り、剪定、草取り

草は伸びていませんでしたので、展望所周りのツツジ、トベラ、シャリンバイ、ツバキなどをきれいに刈り込みし、展望を良くしました。また傾斜地に植栽しているハマボウの、勢い良く伸びた下側の枝を剪定しました。

このところ日照り続きで、雨はもう1ヶ月あまり降っていないため、アジサイの葉がしおれているものが多く見られ、また枯死が心配です。

(森 俊一)



今年この作業に参加した主なメンバー



アジサイもすっきり刈りこんだ



11/13 斜面を刈る中橋さん
今日は五島列島がよく見えた

入船町竹林整備

(長崎市入船町)



10月17日 参加者 栗山,多田,小林,田中,山本

5ヶ月ぶりの活動! 雑草スッキリ

10/17、今年5月以降、毎回雨で流れて5ヶ月ぶりの作業になりました。作業場所の持ち主、森川さんのおばあちゃんには、全く久しぶりにお会いしました。96歳になられるそうですが、声も顔色もお元気でこちらが元気をもらいました。

森川さん宅の玄関前から見ると、山林に向かう道も全く見えないほど、背の高い雑草が生い茂っていて、やり甲斐のある作業になりました。

刈払機2台を駆使して、皆さん頑張りました。セイタカアワダチソウの黄色い花が全くみえないようにスッキリになりました。これだけきれいになると本当に気持ちいいものです。なお、何回も竹切りを重ねた結果、真竹はほとんど見当たらなくなったそうです。(山本 一雄)

セイタカアワダチソウ



BEFORE



AFTER セイタカアワダチソウが消えた

西海市活動に終止符

11月17日(土) 参加者 栗山,田中,小林,前川



会活動の原点の場所

11月27日(日) 西海市活動に終止符を打つことになり、最後の整備に向かいました。

この場所は、会発足後で活動場所を探していたところに、故山崎禮二さんの御両親から場所の提供を受け、竹林を整備し、子供たちの植樹につなげる活動を行なったところでした。西海東小学校の子供たちが、校庭にある大きなクヌギの実のポット苗作りを行ない、卒

業記念として西海市の竹林を整備した場所に植樹をしました。

その後は、定期的に整備をおこなっていましたが、イノシシ除けの鉄柵が隣接する畑のまわりに設置され、車の駐車場が無くなってしまい足が遠のいていました。

今回の活動は、植樹場所の草刈り、去年の台風で折れたと思われる栗の木などを除伐して、スッキリすることができました。
(前川 文雄)

農業体験

(雲仙市瑞穂町)



10月2日(土) 参加者 (梅澤夫人),片山,中橋,細川,森
10月30日(土) 参加者 (梅澤夫人),片山,中橋,細川,森

10/2 活動内容;草刈り、剪定、(ニンニク、ネギ補植)

前回(9/20)、秋ジャガの植付けに集中し、できなかった場所の草刈りを中心に実施。また、畑の周辺にある境木の枝剪定を行なった。完全にはできなかったがスッキリなった。

境木は、イヌマキ、ゲッケイジュ、トチュウ、ツバキなどが植えられていて、定期的に剪定しないとすぐ大きくなり、畑に陰を落とし悪影響を及ぼす。
(森 俊一)

サツマイモ掘り大苦戦



植付けたタマネギ苗



発掘中のサツマイモ



10/30 参加者

10/30 活動内容;サツマイモ掘り、タマネギ植付け

6月に植えたサツマイモ、雨不足で掘り上げを延ばしていたが、この日掘り上げを行なうことにした。

3本爪の鍬などで掘り上げを始めたが、芋が半分くらい見える所から下の土が硬く、鍬が入らない。無理に引き抜こうとすると、芋が折れたり傷ついたりして、思うように収穫できない。芋づる式という言葉が通用しない!!細川さんを中心に、まるで遺跡を発掘するように慎重に行

た。植付けた4畝の内2畝ほど掘りこの日は終了した。収穫量は比較的多く、1株に10本ほどの芋が着いたものもあった。(後日味はとて美味しかったと感想あり)

県南地方1ヶ月以上本格的に雨が降っていない。雨を期待し、寒くなる前に再度挑戦することにした。

この日は黒マルチをして、タマネギを200本ほど植えた。(極早生と早生品種)

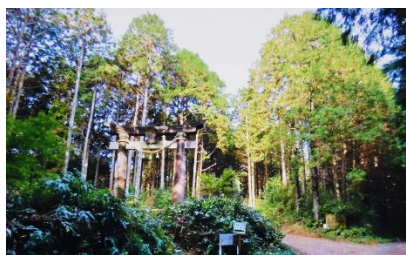
(森 俊一)

登山部だより

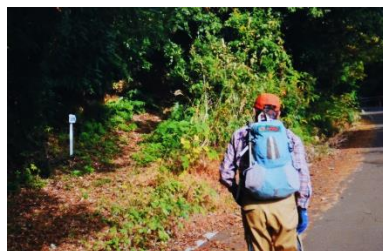
11月18(木) 参加者 前川,小林



金泉寺参道の実踏



一の宮鳥居



金泉寺参道



一の宮岳鳥居

本年3月、多良山系の標高870mにある金泉寺に通じる8kmの参道が、約150年ぶりに再開通した。

NGH登山部でこの参道を歩き、金泉寺登山に挑戦しようと、前川さんと事前調査を実施した。

午前9時、諫早市高来町の麓を出発、10分で参道入口の「一の宮鳥居」をくぐり、「金泉寺参道」の標識に従い黒新田地区、ソーラー設置地区、牧場を通り多良岳横断林道(多良岳グリーンロード)へでた。林道を進むと2時間15分で登山口である多良岳・金泉寺3kmの標識に到達した。

ここで前川さんと協議の結果、今日の実踏はこの先の

一の宮岳で折り返すことになり、45分かけ一の宮岳へ。正午に赤い鳥居が立つ一の宮岳へ着き昼食と休憩をとり下山。帰路は2時間15分で出発点へ戻った。

本日の行程は一の鳥居から一の宮岳までの往復 距離;約12km、時間;5時間45分でした。

今回は、多良岳金泉寺3kmの標識から出発し一の宮岳、黒木岳、前岳、国見岳、多良岳を経て金泉寺への参道コースをのぼり、多良岳グリーンロードを通り出発点へ戻るコースの

距離;約8km、時間;約6時間30分 について計画中です。(小林 征雄)

紅葉の雲仙国見岳に登る

10月31日(日) 参加者 前川,馬場,栗山,小林

紅葉の中大勢の登山客!

9時 千々石橋神社集合～雲仙第二吹越駐車場、第二吹越、標高899mより山歩き開始。ススキなど、秋の草花・紅葉を横目にひたすら登り、尾根道出合い(約1250m)まで1時間くらいだったでしょうか。距離にすると1kmくらいなのですが、ずっと登りなので、ゆっくりとそれぞれのペースで、まわりの景色を楽しみながら歩きました。

尾根筋にでると、行き交う人も沢山、目指す国見岳が見える。普賢岳山頂には大勢の人! 紅葉もきれいでしたが、ヒゼンマユミの実がピンク色で印象的でした。

国見岳山頂までは、岩場! ロープ・鎖場の手掛りを便り

下山はご用心

に前川会長の指示通りに手足すべてを使って登りました。山頂にはゆっくりと休憩中の方々、犬と一緒に登ってこられる方、熊本など遠方からの方、多くの登山者が行き交います。私達4人はゆったりと1時間もの休憩の後下山。

下りも注意しながら、岩場を降りる。尾根筋は楽しいハイキング。下り、私は登山靴底の摩耗により転倒、一回転してしまいました。はき慣れた靴が失敗(前川会長より指摘)幸い怪我無く下山できて、ホッとしました。

栗山さん、小林さん、皆さんのジョークで笑っぱなしの一日でした。(馬場 さつき)



紅葉の中を登る



国見岳山頂にて



国見岳、岩場を降りる

梅松鶴竹林整備

(長崎市西坂町)



10月03日(日) 参加者 多田,栗山,小林,根岸ユ,田中,中橋,前川
 11月07日(日) 参加者 多田,栗山,小林,田中
 12月05日(日) 参加者 多田マ,多田チ,小林,栗山,中橋,田中,山本,前川

"2021の秋色

2021年の秋は特段に紅葉が美しかったように感じました。紅葉だけでなく、寄せられた長崎各地の秋色を紹介します。



雲仙ロープウェイ付近の紅葉(撮影小林)



長崎市瑠璃光山妙相寺の紅葉(撮影小林)



多良岳金泉寺の紅葉(撮影小林)



長崎市七面山妙光寺の紅葉(撮影小林)



長崎市金刀比羅神社の紅葉(撮影小林)



雲仙市小浜町三十路園の紅葉(撮影森)



諫早白木峰高原のコスモス、雲仙岳遠望(撮影森)



里芋の花
 2020年に一度しか咲かないという情報です(撮影古賀)

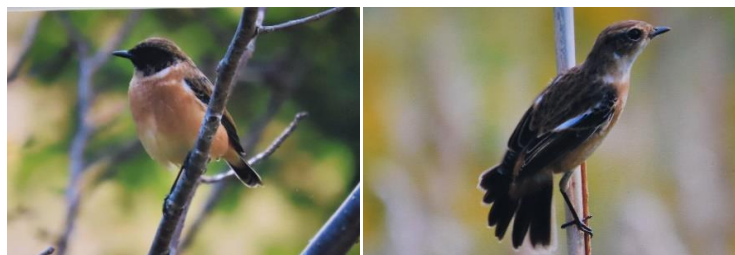


野鳥観祭



小林 征雄

ノビタキ



スズメ目ヒタキ科ノビタキ属の渡り鳥で、イギリス、ヨーロッパ、アジア等でひろく分布する鳥。

全長 13cm、雄は頭から背、翌が黒色。目立つ木や草に止まって「ジヤツ、ジヤツ」と鳴く。

北海道で夏に繁殖するノビタキは越冬地のインドシナ半島や中国南部へ移動する途中に立ち寄る。

写真は、10月27日 稲佐山で撮影したもの。

ミノサザイ



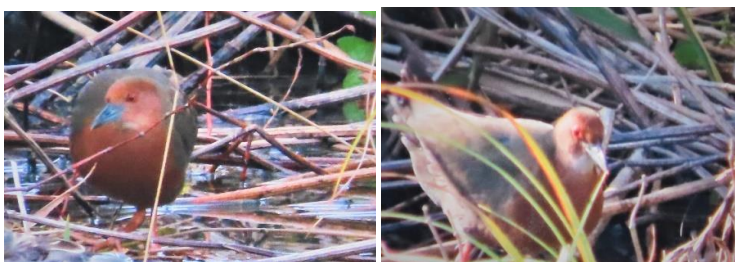
スズメ目ミソサザイ科ミソサザイ属の鳥で、主に九州以北の山地の谷川沿いの林で繁殖。

全長 10.5cm、ニホン最小の野鳥の一種です。

山地の谷あいの薄暗い林を好み、小さな体に似合わない大きな美声で「チヨツイ チヨツイ ツイ… ペチルルルイ…」と長くさえずる。

写真は、11月21日 多良山系の金泉寺で撮影した。

ヒクイナ



ツル目クイナ科ヒクイナ属の鳥で、絶滅危惧種の一種です。

全長 29cm、全身赤っぽい羽色で平地や低山の水田、河川、湿地に生息。夏鳥として全国に渡来して繁殖するが、本州以南では少数が越冬する冬鳥です。臆病な性格で芦原などに潜んでいることが多い。

写真は、12月2日 外海の黒崎永田湿地自然公園で撮影した。

植物の名前の由来

タツナミソウ (立浪草)

一方方向に2列に立ち並ぶ花の様子を、押し寄せる波頭に見立てた名前といわれる。この花の仲間はほとんどが同じような花のつきかたで、青紫色の唇形花しんけいひなが穂状に並びきれいである。

分布、生育地・・・本州・四国・九州、山の草地、草原など

花期・・・5～6月

近似種・・・シソバタツナミ・コバナタツナミ・ヤマタツナミ・シロタツナミなど

